

2017年7月作成 2版

貯法 室温保存

日本標準商品分類番号 879939

承認指令書番号	農林水産省指令 23 動薬第 3190 号
販売開始	2009年5月

使用前に必ず本書を読み、内容を理解したうえで使用してください。
また、本書を必要なときに参照できるように大切に保管してください。

動物用医薬品

フェニルピラゾール系殺虫剤

マイフリーガード® 犬用 クリニックボトル

本剤はフェニルピラゾール系化合物であるフィプロニルを含有するノミ・マダニ駆除剤です。

フィプロニルは、ノミやマダニの塩素イオンチャンネル内のGABAレセプターに主に結合し、神経細胞内の塩素イオンの流入を阻止することで殺虫効果を示します。

2週間に1度のシャンプーでも効果が持続することを投与試験で確認しております。

【成分及び分量】

本剤 1 mL 中
フィプロニル…………… 100.0 mg

【効能又は効果】

犬に寄生するノミ、マダニの駆除

【用法及び用量】

10週齢及び体重2kg以上の犬の肩甲骨間背部の被毛を分け、皮膚上に直接次の投与量を滴下する。なお、体重60kg以上の犬は4.02 mL及び適当な用量を滴下する。

体 重	投 与 量	ポンプを押す回数
10 kg 未満	0.67 mL	1 回
10～20 kg 未満	1.34 mL	2 回
20～40 kg 未満	2.68 mL	4 回
40～60 kg 未満	4.02 mL	6 回

【使用上の注意】

(基本的事項)

- 守らなければならないこと
(一般的注意)
 - 本剤は獣医師の指導の下で使用すること。
 - 本剤は効能・効果において定められた目的のみに使用すること。
 - 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
 - 犬以外の動物には使用しないこと。特にウサギに使用しないこと。
 (使用者に対する注意)
 - 内容液を直接手で触らないこと。
 - 本剤投与後、完全に乾くまで(通常4時間程度)は投与部位に直接触れないこと。また、投与したことを知らない人も触れないように注意すること。特に、小児がいる多頭飼いの家庭で複数の犬に同時に本剤を投与する場合は、投与した犬と小児との接触を避けること。
 - 本剤は、投与後の犬と小児との接触を避けるよう大人が注意を払える時間帯に投与すること。特に、3歳以下の幼児が投与後に犬に触れた場合、その手を口を持って行く可能性があり、体重あたりの薬剤暴露量も大人より大きくなるので、3歳以下の幼児がいる家庭で本剤を使用する場合は、投与部位が完全に乾くまで投与した犬と幼児との接触を完全に避けること。また、その後も幼児が投与した犬に触れた場合は、必ず石けんで手をよく洗うこと。
 - 飲食をしながら投与しないこと。
 - 喫煙をしながら投与しないこと。
 (犬に関する注意)
 - 本剤使用前後2日間は、水浴あるいはシャンプーを行わないこと。
 - 衰弱、高齢、妊娠中あるいは授乳中の犬あるいは薬物治療を受けている犬に対して使用する場合には獣医師に相談すること。
 - 本剤は外用以外に使用しないこと。
 - 本剤は1回投与すると通常ノミに対し1～3カ月間、マダニに対し約1カ月間新規の寄生を防御することができるので、次の投与はそれを考慮して行うこと。

(取扱い及び廃棄のための注意)

- ・本剤の外観又は内容物に異常が認められた場合は使用しないこと。
- ・本剤は有効期間を設定してある動物用医薬品なので使用期限を過ぎた製品は使用しないこと。
- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・本剤の保管は直射日光、高温及び多湿を避けること。
- ・本剤のボトル型については、使用後に専用のノズルキャップを装着して保管し、開封後は12カ月以内に使い切ること。ただし、開封後12カ月以内であっても使用期限を過ぎた製品は使用しないこと。
- ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。

2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- ・本剤が誤って眼、鼻、口等に入ったときは、直ちに水で洗浄やうがい等を行い医師の診察を受けること。
- ・誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。
- ・内容液が皮膚に付着した場合は、まれに一過性の皮膚反応が起こることがあるので、作業後は石けん等で手をよく洗うこと。

(犬に関する注意)

- ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。
- ・もし、動物が舐めた場合、溶媒の性状のため一過性の流涎、アルコール様中毒症状(嘔吐、食欲不振)が観察されることがある。そのため、本剤投与後乾燥するまではお互いに舐めないように注意すること。
- ・まれに、他の外用殺虫剤と同様に、本剤を使用後、個体差による一過性の過敏症(投与部位の刺激によるそう痒、発赤、脱色、脱毛)が起こることがあるので、症状が持続又は悪化する場合は、速やかに獣医師の診察を受けること。
- ・まれに、溶媒の性状のため本剤を投与した部位の被毛に脱色や変色が起こることがある。
- ・犬の眼に入らないように注意すること。傷のある皮膚には滴下しないこと。
- ・万が一、皮膚に異常を来した場合は、直ぐに水洗して薬液を洗い流すこと。

(取扱い上の注意)

- ・本剤のボトル型はポンプを1回押すごとに規定量が吐出されるように設計されているが、ポンプを装着した後、最初の5回分の液には空気等が入る可能性があるため捨てること。また、長期間使用しない場合も同様に操作すること。

【有効期間】

36 カ月

【包装】

35 mL × 1 本 (アルミ袋)

火気厳禁

危険物第四類第三石油類 危険等級Ⅲ グリコール類

必ずボトルを立てて投与してください。横向きで使用すると、規定量が出ない場合があります。必要に応じて投与しやすいように付属のノズルチューブを切って長さを調整してご使用ください。ノズル先端が動物の皮膚に接触した場合、使用後にアルコール綿などで清拭してください。使用後はノズルキャップを付けてアルミ袋に入れ、立てた状態で保管してください。

【製品情報お問い合わせ先】

フジタ製薬株式会社

〒193-0942 東京都八王子市柵田町1211

電話 (042) 661-5528 (代)

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所 (<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします。

製造販売元



フジタ製薬株式会社

東京都品川区上大崎2丁目13番2号

<http://www.fujita-pharm.co.jp>

FUJITA PHARM